

平成25年3月15日

平成24年度病害虫発生予報第12号

長崎県病害虫防除所長

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

農作物名	病害虫名	発生程度	
		現況	予想
麦類	うどんこ病	並	並
きゅうり	べと病	並	並
	うどんこ病	並	並
	褐斑病	少	少
	菌核病	並	並
	灰色かび病	やや少	やや少
	ミナミキイロアザミウマ	やや多	やや多
	コナジラミ類	並	並
トマト	黄化葉巻病	やや少	やや少
	灰色かび病	並	並
	コナジラミ類	並	やや多
いちご (本圃)	うどんこ病	やや少	やや少
	灰色かび病	並	並
	アブラムシ類	並	並
	ハダニ類(注意報第4号継続)	多	多
たまねぎ	白色疫病	やや少	やや少
	べと病	並	並
	ネギアザミウマ	やや少	やや少
かんきつ	そうか病	並	並
	かいよう病	(越冬病斑) やや少	やや少
	ミカンハダニ	(越冬病斑) 並	並
果樹共通	クワゴマダラヒトリ	少	少
茶	カンザワハダニ	並	並

【発生予報】 本文の()内は平年値

麦類

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 3月上旬の巡回調査(大麦9筆、裸麦4筆、小麦15筆)の結果、発生を認めなかった(発生を認めない)。

イ 3月3半旬の県予察圃場(無防除、諫早市)調査の結果、発生を認めなかった(発生を認めない)。

きゅうり

1. べと病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は8.5%(4.9%)、発生圃場率は41.7%(45.5%)であった。

2. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は6.8%(8.7%)、発生圃場率は75.0%(67.4%)であった。

3. 褐斑病

(1) 予報内容

発生程度 少

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病葉率6.1%、発生圃場率56.3%)。

4. 菌核病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病果率0.0%、発生圃場率4.2%)。

5. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病果率0.1%、発生圃場率11.6%)。

6. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は2.7%(1.2%)、発生圃場率は33.3%(23.2%)であった。

(3) 防除上注意すべき事項

ア キュウリ黄化えそ病のウイルス伝染環を遮断するため、ウイルス保毒虫が野外に分散しないよう、発生初期に防除する。

イ 薬剤抵抗性対策のため、同一系統の薬剤は連用しない。

ウ 栽培終了時に密閉陽熱処理等によって死滅させ、施設外への分散を防ぐ。

7. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 3月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は0.9%(3.5%)、発生圃場率は41.7%(30.3%)であった。

イ 向こう1か月の気温は平年より高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

(3) 防除上注意すべき事項

ア キュウリ退緑黄化病のウイルス伝染環を遮断するため、ウイルス保毒虫が野外に分散しないよう、発生初期に防除する。

イ 薬剤抵抗性対策のため、同一系統の薬剤は連用しない。

ウ 栽培終了時に密閉陽熱処理等によって死滅させ、施設外への分散を防ぐ。

トマト

1. 黄化葉巻病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病株率は0.2%(過去8カ年平均0.7%)、発生圃場率は8.3%(同28.1%)であった。

2. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病果率は0.1%(0.3%)、発生圃場率は25.0%(26.0%)であった。

3. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

ア 3月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は0.5%(寄生株率0.6%)、発生圃場率は25.0%(14.6%)であった。

イ 向こう1か月の気温は平年より高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 本虫は強い薬剤抵抗性をもつので薬剤の選定にあたっては十分留意する。

イ ハウス内の雑草は本虫の生息・増殖源になるので除去する。

ウ 栽培終了後は、施設内の陽熱密閉処理を行い、本虫の施設外への分散を防ぐ。

いちご

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.1%、発生圃場率3.2%、発病果率0.0%、発生圃場率0.9%)。

2. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 発生状況等

3月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発病果率は0.1%(0.2%)、発生圃場率は14.8%(19.5%)であった。

3. アブラムシ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は0.5%(0.8%)、発生圃場率は7.4%(9.3%)であった。

4. ハダニ類

平成25年3月4日付け病害虫発生予察注意報第4号を継続。

なお、その後の発生状況については、以下のとおりである。

(1) 発生状況

ア 3月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は10.1%(4.1%)、発生圃場率は55.6%(36.6%)であり、2月下旬に比べさらに増加している。

イ 向こう1か月の気温は平年より高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

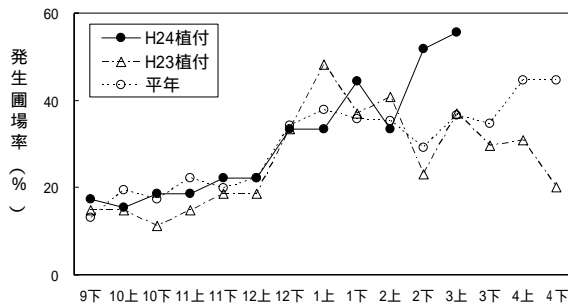


図 いちご ハダニ類 発生圃場率の推移

平年: H14~H23の平均値(最大・小値除く)

ただし、12/下、1/下、2/下はH19~H23の平

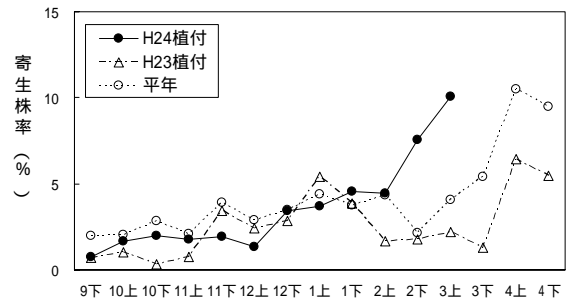


図 いちご ハダニ類 寄生株率の推移

平年: H14~H23の平均値(最大・小値除く)

ただし、12/下、1/下、2/下はH19~H23の平

(2) 防除上注意すべき事項

ア 葉裏に多く寄生するので、薬剤散布は古葉の整理を行なった後、薬液が葉裏に十分かかるように丁寧に散布する。

イ 薬剤感受性が低下しやすいので、同一薬剤は連用しない。

ウ 天敵(チリカブリダニ等)を放飼している圃場は、発生状況に応じて天敵に影響の少ない殺ダニ剤を使用する。天敵の詳しい利用方法については県病害虫防除基準等の使用マニュアルを参考にする。

たまねぎ

1. 白色疫病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(15筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.1%、発生圃場率5.8%)。

2. ベと病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(15筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.1%、発生圃場率5.8%)が、診断依頼等で発生を確認している。

(3) 防除上注意すべき事項

- ア 発病株を発見したら、二次感染が始まる前に抜き取り、適切に処分する。
- イ 肥料切れしないように肥培管理を適切にする。
- ウ 発生初期のうちに速やかに薬剤散布を行う。薬剤耐性菌を生じるおそれがあるので、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

3. ネギアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(15筆)の結果、寄生株率は10.7%(22.0%)、発生圃場率は66.7%(72.5%)であった。

かんきつ

1. そうか病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(36筆)の結果、発病葉率は0.1%(0.0%)、発生圃場率は5.6%(1.3%)であった。

2. かいよう病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(36筆)の結果、発病葉率は0.3%(0.5%)、発生圃場率は13.9%(25.0%)であった。

3. ミカンハダニ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(36筆)の結果、寄生葉率は2.4%(2.0%)、発生圃場率は36.1%(29.5%)であった。

果樹共通

1. クワゴマダラヒトリ

(1) 予報内容

発生程度 少

(2) 予報の根拠

平成24年9~10月に実施した産卵樹上(アカメガシワ、カラスザンショウ)

における幼虫巢の発生調査の結果、県内8地区の平均発生程度は0.0であった(平成17～23年の平均:0.7)。

※調査方法:発生程度を達観で極多:5、多:4、中:3、少:2、極少:1、無:0とした。

茶

1.カンザワハダニ

(1)予報内容

発生程度 並

(2)予報の根拠

3月上旬の巡回調査(15筆)の結果、寄生葉率は0.4%(1.2%)、発生圃場率は13.3%(32.0%)であった。

【参考】

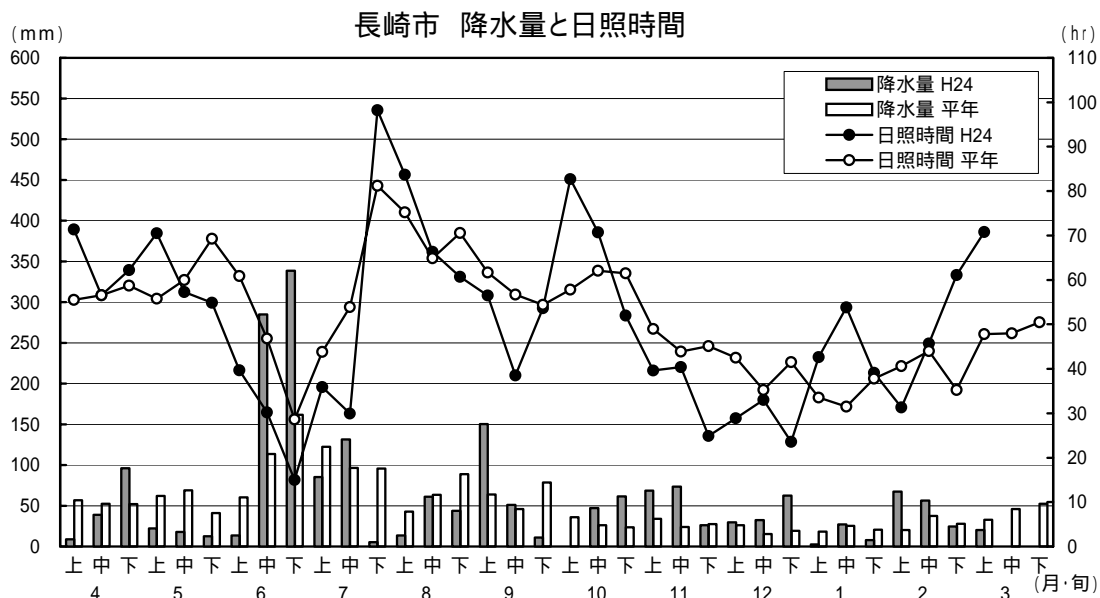
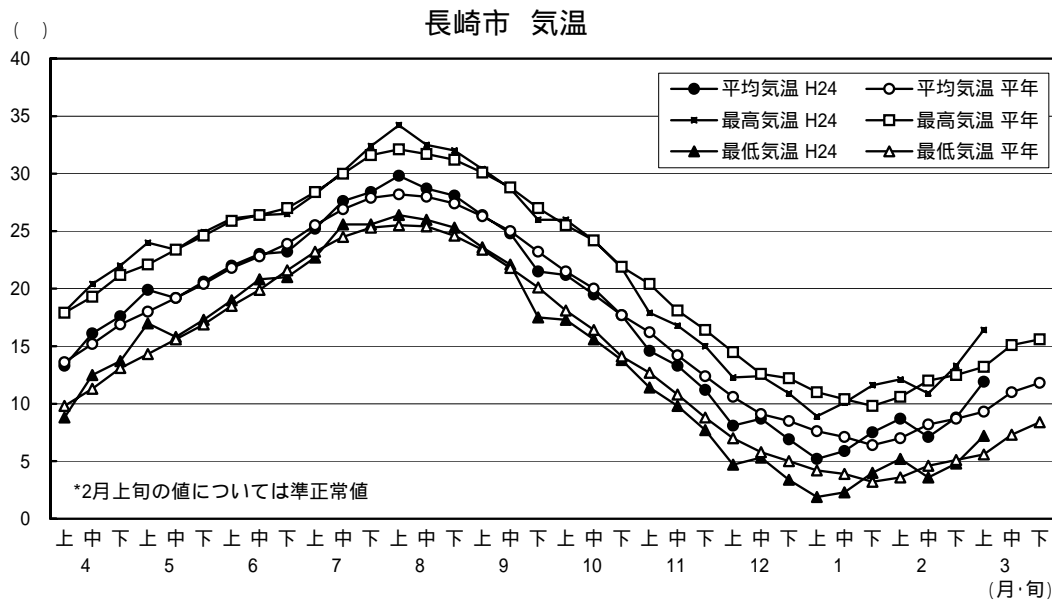
気象 (平成25年3月15日発表 1か月予報 福岡管区気象台)

要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	10	30	60
降水量	20	40	40
日照時間	40	40	20

予報対象地域：九州北部地域

平成24年度の気象経過 (長崎海洋気象台)



病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnp.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027